ご利用案内

投映日時＝土・日・祝日

投映時間・内容（7 月～9 月）

11:00（幼児～小学生向け）	13:30（小～中学生向け）	15:00（高校生～大人向け）
クレヨンしんちゃん　かすかべ防衛隊　宇宙クイズで勝負だゾ！ ポケットモンスター　XY 宇宙の破片	アリオンとイルカ ポケットモンスター　XY 宇宙の破片 星空解説	4D2U 天の川銀河 かぐやと KAGUYA～月が地球にくれた贈り物～ 星空解説 ※8/23（土）「星空音楽館」は別内容となります。

※希望投映は事前予約が必要となります。詳細はお問い合わせください。

観覧料

高校生以上（個人）	510 円
高校生以上 （団体 20 名以上）	410 円
中学生以下	無料

☆博物館パスポート 1 枚につき、
高校生以上 1 名無料

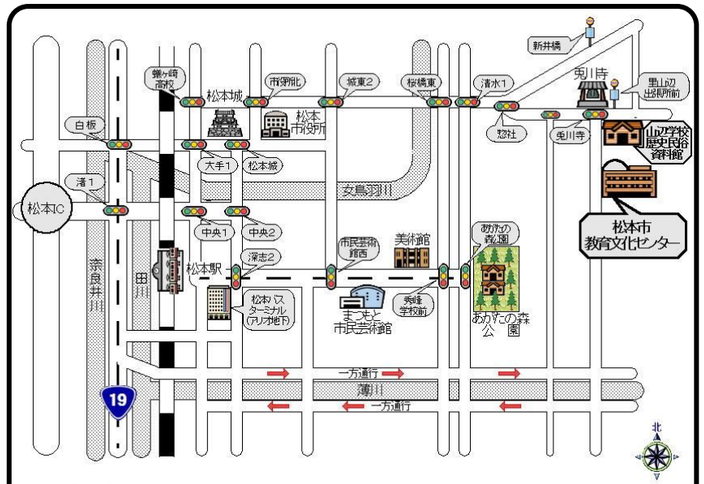
☆転入世帯優待券 1 枚につき、
1 世帯家族無料

☆障害者手帳持参により、
本人とその介助者 1 名無料

☆市内在住 70 歳以上の方は無料

☆その他、各種イベント開催時には無料

アクセス



交通案内

〈バス〉　松本バスターミナル３番のりば（アリオ１階ホーム）より乗車
①入山辺線　里山辺出張所前より下車　徒歩１分
②美ヶ原温泉線　新井橋より下車　徒歩 15 分

〈車〉　長野自動車道松本ＩＣより約 20 分　駐車場 60 台（無料）

クイズの答え
A1.はくちょう座　A2.さそり座
A3.りゅう座　A4.わし座
A5.いるか座
A6.へび座（真ん中にへびつかい座があります）

松本市教育文化センター

〒390-0221　松本市里山辺 2930-1

TEL:0263-32-7600　FAX:0263-32-7604

E-mail:kyoubun@city.matsumoto.nagano.jp

教育文化センター　プラネタリウム通信

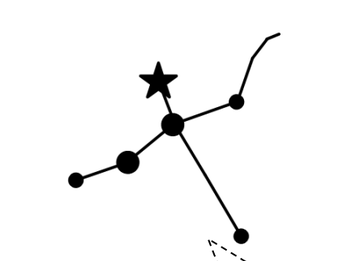
ほしみる

No.14　2014.7.30

夏の夜空の動物園

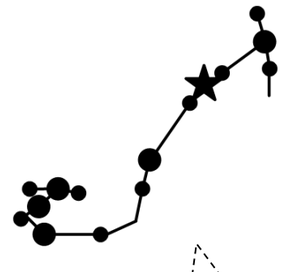
「夜空の動物園」シリーズの第 3 弾では、夏の夜空で見られる動物の星座をご紹介します。

形とヒントから、何の動物か当ててみましょう。



Q1

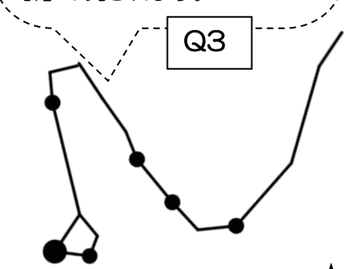
鳥の星座です。しっぽの部分にある 1 等星のデネブの他に、くちばしにはアルビレオという二重星があります。中心部が十字形のため、「北十字」とも呼ばれます。天の川の上にあるため多くの星団や星雲を持ち、付近には「石炭袋」とも呼ばれる暗黒星雲があります。



Q2

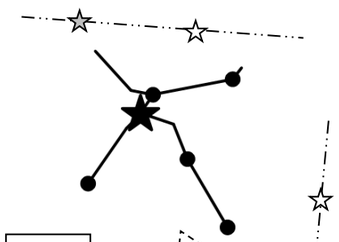
S 字形をした星座です。心臓の部分には「火星に対抗するもの」という意味を持つ 1 等星のアンタレスがあります。強い毒を持った生物で、英雄オリオンをその毒で苦しめました。その形からしばしば釣り針と例えられ、日本では「魚釣り星」や「鯛釣り星」とも呼ばれていました。

実在する動物ではなく、架空の強い生物です。北極星の近くにあり、1 年中北の空で見られます。ギリシャ神話では黄金のリンゴの木を守る怪物で、英雄ヘルクレスに退治されました。この星座の近くで 3 大流星群の 1 つである「しぶんぎ座流星群」が見られます。



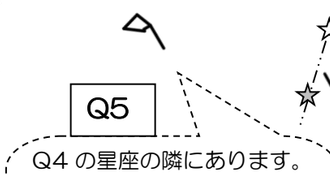
Q3

真ん中に別の星座があるため、頭の部分と尾の部分が２つに分かれている珍しい星座です。この動物は、昔から生命力と再生力をつかさどり、医学や薬学のシンボルとされています。また、日本では神様の使いとされています。



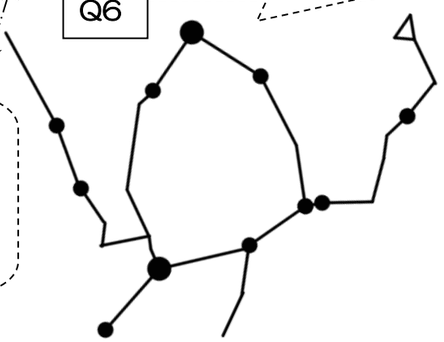
Q4

鳥の星座です。ギリシャ神話では大神ゼウスが変身した姿とされています。肩のあたりにアルタイルという 1 等星があり、七夕物語では彦星とされています。また、アルタイルはQ1 のデネブと共に「夏の大三角」を作る星の 1 つです。



Q5

Q4 の星座の隣にあります。暗い星が多くわかりづらいですが、小さなダイヤ形のかわいらしい星座です。海の神様の使いであり、神聖な動物とされています。

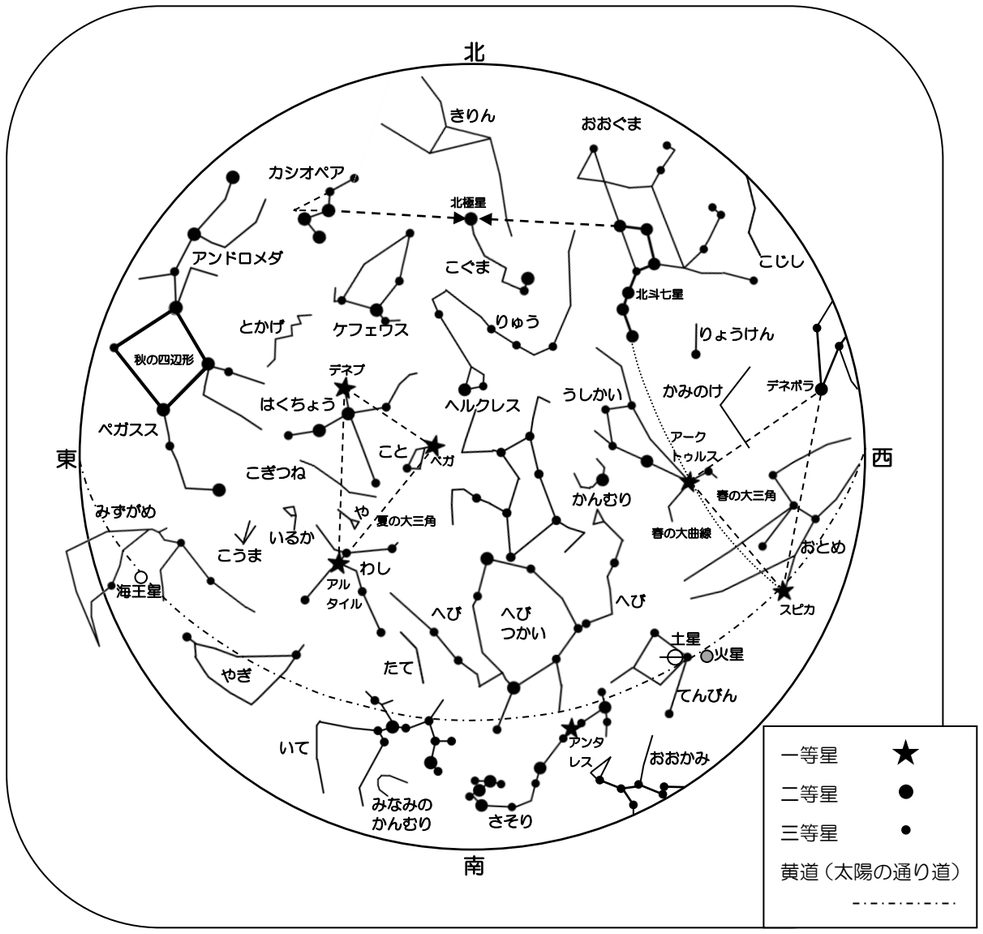


Q6

※答えは最後のページに掲載しています。

季節の星空

8 月 15 日 20 時頃の松本の星空



8 月の主な天文情報

- 2(土)　旧暦の七夕（伝統的七夕）
- 3(日)　月と火星が大接近、月が火星の北を通過
- 4(月)　月と土星が大接近、月が土星の南を通過
- 11(月)　満月（スーパームーン）
- 13(水)　ペルセウス座流星群が極大（出現期間 7/20～8/20）
- 18(月)　木星と金星が最接近、金星が木星の北を通過
- 25(月)　新月
- 30(土)　海王星がみずがめ座で衝

☆ スーパームーン
月が地球に最も近づいた時に満月、もしくは新月を迎えること。
月は地球の周りを楕円の形で回るため、月と地球の距離は変化します。また、太陽や地球の影響を受けて、最も近づく時と遠ざかる時の距離は毎回変わります。
今年は８月 11 日（月）に迎える満月が、最も大きい満月になります。

極大（きょくだい）→活動が最も活発になること。流星群の場合は、最も多く流星が現れる期間を指します。

衝（しょう）→地球からある太陽系の天体を見たとき、その天体が地球を挟んで太陽と正反対の位置になること。
このときはほぼ一晩中観測ができ、明るく見えます。

☆ ☆ ☆ プラネタリウム事業案内 ☆ ☆ ☆

8/9(土)・10(日)　**☆教育文化センター　無料開放日**

開放日はプラネタリウム全ての回(11:00～／13:30～／15:00～)を無料でご覧いただけます。
番組プログラムは、通常投映と同じになります。
申し込み不要。先着 90 名。

8/23(土)　**☆星空音楽館**　15:00～

プラネタリウムで星空を見ながら音楽を鑑賞しましょう。
申し込み不要。先着 90 名。

8/31(日)　**☆太陽観測**　9:00～10:15

天体望遠鏡を使って、太陽のプロミネンスや黒点を観測します。
（天候不順で観測ができない場合はプラネタリウムをご覧いただきます。）
受付開始:8/21(木) 8:30 より　定員:15 人(小学生以上)

9/6（土）　**☆星空散歩・星の観望会**　19:30～21:00

天体望遠鏡を使って、夏～秋の天文現象を観測します。
（天候不順で観測ができない場合はプラネタリウムをご覧いただきます。）
受付開始:8/27(水) 8:30 より　定員:40 人(小学生以上)

※事前申し込みが必要な事業についての受付は、電話受付のみとさせていただきます。

ペルセウス座流星群

お盆が近づき、3 大流星群の 1 つである「ペルセウス座流星群」が見頃を迎えます。

出現期間は 7 月 20 日～8 月 20 日頃で、今年は 8 月 12 日(火)深夜～13 日(水)の明け方頃に極大になると予想されています。

ペルセウス座が北東の空に現れる午後 10 時頃～明け方まで観望することができ、条件が良ければ 1 時間に数十個の流星を見ることができますが、今年は満月を過ぎたばかりの月が一晩中出ているため空が明るくなり、観察できる流星の数はとても少ないと予想されています。

旧暦の七夕

8 月 2 日(土)は今年の旧暦の七夕にあたり、伝統的七夕とも呼ばれています。

現在は、太陽の動きを基としたグレゴリオ太陽暦を使用していますが、これは明治維新により欧米の文化を取り入れようとした結果、明治 6 年に新暦として採用されたものです。

それ以前は太陰太陽暦を使用し、新月の日をその月の一日（ついたち）と定め、その日から何日目になるかで日付を決めていました。そのため、現在の新暦に当てはめた時、旧暦の七夕の日付は年ごとに変わり、七夕の夜の月は必ず新月から数えて 6 日目の月となります。